

教科	国語	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
質問に答えるかたちで自分のことを話そう	2	質問に答えるかたちで自分のことを話そう 自分との対話	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。	積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
風景 純銀もざいく	2	繰り返しの響きや意味に気を付けて音読し、言葉の意味を考える。	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク)文章を音読したり朗読したりしている。	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	すすんで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気を付けて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	2	情景描写に着目して登場人物の心情の変化を想像し、物語の読みを深める。	・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	すすんで情景描写に着目して読み、学習の見通しをもって感想を話し合おうとしている。
考えを図や表に	3	目的や意図に応じて、考えや意見を図に書き出して、関係付けたり比較したりすることができる。	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。
春はあけぼの	4	『枕草子』の文章にふれ、リズムや響きを味わいながら音読し、『枕草子』ふうの文章を書く。	親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。		すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。
言葉の広場① 主語と述語の対応を確認しよう	2	主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。		積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
漢字の広場① 三字以上の熟語の構成	3	三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもつ。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。
五年生で学んだ漢字	1	絵を見て想像したことをもとに、五年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、該当学年の中で使っている。	書くことにおいて、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
アイスは暑いほどおいしい?—グラフの読み取り	1	グラフについての説明を生かしてグラフを読み取り、全体の傾向や変化について説明する。	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	すすんでグラフの意味や構成要素を理解しようとし、これまでの経験を生かし、どのような傾向や変化が読み取れるか、考えようとしている。

雪は新しいエネルギー——未来へつなぐエネルギー社会	6	雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係について、文章と資料を合わせながら読み、筆者の説明の仕方について考えをまとめる。	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	今までの学習を生かして、筆者の主張と取り上げた事例の関係について、文章と資料を合わせながら粘り強く読み、筆者の説明の仕方について考えをまとめようとしている。
パネルディスカッション——地域の防災	6	意見の違いを大事にしなが話し合い、考えを深める。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	意見の違いを大事にしなが粘り強く話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。
みんなで作ろうパンフレット	5	相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットを作る。	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
雨	1	「雨」を扱った言語表現を集め、日本語の豊かさに気づく。	語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。
言葉の広場② 世代による言葉のちがいがい	2	世代による言葉遣いのちがいがいについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようにする。	語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
漢字の広場② 複数の意味をもつ漢字	1	複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に関心をもつ。	語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
五年生で学んだ漢字②	1	絵を見て想像したことをもとに、五年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

川とノリオ	8	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。	・比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。 ・文章を音読したり朗読したりしている。	・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	すすんで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見直しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。
地域の施設を活用しよう	1	身のまわりに情報を集めることのできる施設があることを知る。	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	地域の施設を調べるという活動に見直しをもち、すすんで施設について調べようとしている。
ひろがる読書の世界	1	特別な一冊を紹介したり、伝記の人物から学んだことを漢字で表したりする活動を通して、日常的に読書に親しむ。	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。	「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	すすんで読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付き、学習課題に沿って、文章を読んだ感想や自分の考えを広げようとしている。
聞かせて！「とっておき」の話	2	話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる。	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。
イナゴ	2	凝縮された言葉の美しさや豊かさを味わいながら、詩の世界を楽しむ。	比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。 文章を音読したり朗読したりしている。	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	積極的に言葉の広がりや味わい、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。
「知恵の言葉」を集めよう	1	昔から広く継承されてきた「知恵の言葉」を知ることによって、言語文化の奥深さに気がつくとともに、自らの体験をもとに新たな「知恵の言葉」を創作する。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見直しをもって自分の「知恵の言葉」をつくらうとしている。
あなたは作家	5	写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。
言葉の広場③	1	伝え方次第で相手に自分の考えが伝わらないことを理解し、自分の考えを適切に伝えている。	言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気付いている。	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめている。	すすんで言葉には伝え方次第で相手に自分の考えがうまく伝わらないことに気付き、見直しをもって、自分の考えを適切に伝えようとしている。
漢字の広場③	2	意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって、意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。

漢字の広場 ③ 五年生で学んだ漢字③	1	絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
国語の学習 つながるひろがる	2	半年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、計画的に学習できるようにする。	話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。	・「話すこと聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に上巻の教科書での国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。
きつねの窓	9	登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(1)オ ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	すすんで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。
言葉は時代とともに	4	言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめる。	古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。	「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
十二歳の主張	6	理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書く。	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。
漢字の広場 ④ 音を表す部分	1	形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。	語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。
漢字の広場 ④ 五年生で学んだ漢字 ④	1	絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう あなたはどうか感じる？	1	友達と自分の感じ方の違いについて考える。	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「話すこと聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	すすんで友達と自分の感じ方の違いについて考えようとし、見通しをもって、『ぼくの世界、君の世界』の学習に生かそうとしている。

三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう ぼくの世界、君の世界	8	筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C1)オ ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 	学習の見通しをもって、筆者の考えに気をつけながら文章の要旨を捉えるとともに、自分の経験をふり返りながら「心の世界」について考えようとしている。
「うれしさ」って何？——哲学対話をしよう	4	互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、共通点や相違点をもとに分類する。	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ・「話すこと聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 	積極的に互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。
「読書タイムライン」を作って交流しよう	3	読書タイムラインを作成することを通して、今までの読書を振り返り、日常的に読書に親しむ。	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 ・「話すこと聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 	見通しをもって「読書タイムライン」を作成し、読書りれきなどを振り返りながら、粘り強く自分が作った本た本について考えようとしている。
その場にふさわしい言い方	2	話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。	日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。		積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。
紙風船	1	伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介する。	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	すすんで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。
「迷う」	3	詩を朗読して表現の効果について考え、人物像を具体的に想像する。	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	すすんで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。
六年間の思い出をつづろう——卒業文集	5	話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	自分のこれまでの小学校生活を振り返り、心に残っている事柄と自分にとっての意味を考えながら、読み手に伝わる文章を書こうとしている。
言葉と私たち	2	言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心をもつ。	話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 	すすんで言葉に対する自分の考えをもち、友達と交流したり書いたりすることを通して、言葉への関心を広げようとしている。
同じ訓をもつ漢字	1	異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分ける。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。

<p>五年生で学んだ漢字⑤</p>	<p>1</p>	<p>絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p>	<p>第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>津田梅子——未来をきりひらく「人」への思い</p>	<p>11</p>	<p>伝記を読んで、登場人物の生き方をもとに、自分の未来について考える。</p>	<p>思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>学習課題に沿って津田梅子の生き方を考えた後、自分のこれまでに会った人やものこととのつながりを思い出し、積極的に自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>日本語の文字</p>	<p>2</p>	<p>日本語の文字の由来や特徴に関心を持ち、適切に使い分けができる。</p>	<p>語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>	<p>・「話すこと聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。</p>	<p>積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>
<p>さまざまな読み方／特別な読み方の言葉</p>	<p>1</p>	<p>同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもつ。</p>	<p>思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、表現の効果などについて確かめたり工夫したりしている。</p>	<p>積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。</p>
<p>出会った言葉をふり返ろう</p>	<p>3</p>	<p>卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望をもつ。</p>	<p></p>	<p>・「話すこと聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望をもちようとしている。</p>